



令和8年6月15日
阿曾幼稚園長通信

お化け屋敷へどうぞ♡

カーテンを閉めた真っ暗な遊戯室を見た5歳児の「怖い」「お化けがいるんじゃない」との発言から遊戯室をお化け屋敷にしよう！と工事が始まりました。遊戯室の入口には、「はいれません×」と書いた看板があるため、園長がこっそりのぞくと「ダメ！看板を見て」と叱られてしまいました。「わくわく」が高まり、やっと2日後に開店しました。

9人の子どもたちが、「雪女や井戸から出てくるお化け、飛び出してくるお化け」になり、考え→話し合い→実践→振り返り（話し合い）→実践を繰り返して、開店から4日目には同じ役のお化けと気持ちを合わせて驚かしたり、4歳児も仲間に入れて一緒に3歳児や職員を驚かせたり…。しかし、客が少ない！（12人しか客がいないのです）お化けたちは考えました。「何度もお化け屋敷に来ていいよ！」との言葉に、客もお化けもしっかり楽しめたお化け屋敷でした。

「お化けだぞ～」
後ろから脅かして
います



冷たい保冷剤がぶら下がって
ます



雪
女
登
場

白いポリ袋をまとい、雪女に変
身！（試行錯誤して衣装を作りました）



見付からないように巧技台の中
に隠れました

ジャム作り



大切に育てたイチゴを使って「ジャム」を作りました。つぶして、煮込んでいくと泡がブクブク出てきました。アクの存在を知り、みんなで真剣な顔で取り除きました。混ぜていると「段々重くなってきた」「あまーい、においがする」とイチゴの変化を感じながら作りました。出来上がったジャムをクラッカーに乗せて実食！「おいしい～もっと食べたい♡」と好評でした。隠し味はレモン汁。Y君が「入れないとおいしくないよ」との発言に、全員一致で「必要！」となり入れました。幼稚園では、食育活動にも力を入れています。

？不思議？

みなさんご存じですか。「ナデシコ」の花びらをつぶして、まぜると泡が出ます。子どもたちは、赤や黄、緑の花や葉をつぶして色水を作り、泡をまぜると本物みたいな炭酸飲料ができます。しかし、その道のりは長い！【じっくり・集中して】作らないとできないジュースです。玄関先に植えたセキチクでもできます。「この泡ではケーキにはぬれない。（クリームではない）」「この泡ではシャボン玉ができない」と気付いた5歳児。「石けんを出して！」との要求に15日から石けんを使った遊びを始めたいと思います。

ただ遊んでいるだけではなく、子どもたちに育ってほしいことを意図的な環境を作り、子どもたちは「わくわく・どきどき」しながら遊びを進めていきます。本園は子どもたちの気付きを大切に保育を進めています。

